

資料 3

※各実績値については、R5 年 3 月末時点での最新情報を記載。

※改定前のクール暮らしアクションプランに基づいた施策の進捗状況です。

施策の進捗状況について



暮らし環境キャラクター「くらいふ」

施策一覧		
取組方針 1:ものづくりを「クール」に	1-1	エネルギー・資源の高度利用推進
	1-2	環境関連産業の創出推進
	1-3	中小企業の環境経営支援
	1-4	法令等による事業者の取組促進
	1-5	事業者による自主削減計画の推進
	1-6	高効率設備・機器・プロセス及び革新的技術の導入促進
	1-7	再生可能エネルギーの導入促進
	1-8	グリーン物流の推進
	1-9	低炭素型商品(製品・サービス)の生産推進
取組方針 2:まちを「クール」に	2-1	コンパクトなまちづくりの推進
	2-2	次世代自動車の普及促進
	2-3	太陽エネルギー(太陽光・太陽熱)の利用促進
	2-4	大規模集客施設設置事業者による温暖化対策の推進
	2-5	建築物・施設の省エネルギー・低炭素化の推進
	2-6	屋外照明の省エネルギー化の推進
	2-7	エコ移動の推進
	2-8	バイオマスエネルギーの利用促進
	2-9	都市緑化及び森林整備・保全の推進
	2-10	水素社会の実現に向けた取組
	2-11	未利用エネルギーの導入検討
	2-12	フロン対策の推進
取組方針 3:くらしを「クール」に	3-1	CO ₂ の少ない生活様式の推進
	3-2	ごみの少ない生活様式の推進
	3-3	倉敷市次世代エコハウス認定制度の運用
	3-4	COOL CHOICE の推進
	3-5	地産地消、旬産旬消の推進
	3-6	環境教育・環境学習・環境啓発の推進
	3-7	家庭へのエコ情報配信
	3-8	環境情報の「見える化」の推進
取組方針 4:観光を「クール」に	4-1	次世代自動車を活用した環境調和型観光地づくりの推進
	4-2	環境にやさしい体験型観光イベントの実施
	4-3	環境にやさしい観光関連商品・サービスの推進
	4-4	観光関連施設における温暖化対策の推進
	4-5	既存の観光イベントのグリーン化の推進
取組方針 5:つながりを「ホット」に	5-1	温暖化防止活動拠点施設の活用
	5-2	近隣自治体等との交流・連携の強化
取組方針 6:気候変動への「そなえ」	6-1	適応策に関する普及啓発

■ 令和 4 年度のトピックス

1 片島浄水場における PPA モデルを活用した太陽光発電の導入

片島浄水場に電力購入契約モデル(PPA)を活用した太陽光発電システムを導入し、R5 年 2 月から運用開始しています。片島浄水場内の約 4,000m²に約 480kW の太陽光パネルを設置することで、年間約 48 万 kWh の発電を見込んでおり、浄水場全体の電気使用量の約 15%をまかなう予定です。R4 年度(令和 5 年 2 月～3 月)には、110,256kWh 発電し、CO₂ 削減効果は約 63.8 t-CO₂ となりました。

※電力購入モデル(PPA)とは、発電事業者が、再生可能エネルギーを導入する企業・家庭等に太陽光発電システムを無償で設置し、所有・維持管理したうえで、発電された電力を企業・家庭等に供給する仕組みです。



2 公共建築物ゼロカーボン指針の策定

省エネルギー設備の導入や断熱性能の向上、再生可能エネルギーの導入、ZEB の導入検討等、現在利用可能な技術を最大限活用し、市が所有するすべての公共建築物のゼロカーボン化を推進するため、R4 年 4 月に「倉敷市公共施設低炭素配慮指針」を改定し、「倉敷市公共建築物ゼロカーボン指針」を策定しました。これにより、市役所全体の温室効果ガス削減目標の達成を目指すとともに、市の率先した取組を民間事業者へ波及させることや市内の建築業界の技術力向上を促進し、市域全体の温室効果ガス削減目標の達成及び 2050 年度ゼロカーボンシティらしきの実現を目指します。

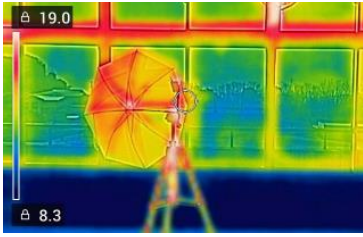
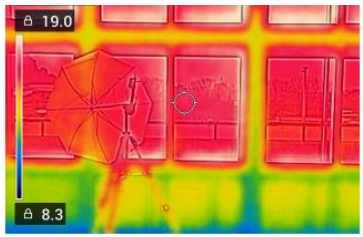

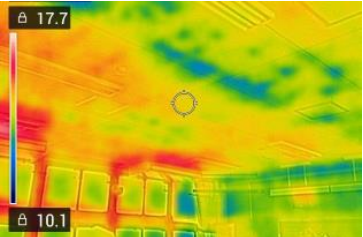
3 高梁川流域カーボンニュートラル研究会の設置、開催

R4 年 5 月、高梁川流域連携中枢都市圏を構成する自治体(新見市、高梁市、総社市、早島町、倉敷市、矢掛町、井原市、浅口市、里庄町、笠岡市の 7 市 3 町)でのカーボンニュートラルの実現に向け、実現可能性や具体的な施策等について調査・研究することを目的として、「高梁川流域カーボンニュートラル研究会」を設置しました。

R4 年度には、各市町の地球温暖化対策に関する取組状況、温室効果ガス排出量、再生可能エネルギー導入ポテンシャルを把握するとともに、小学校の1室を断熱改修する「断熱改修ワークショップ」を開催しました。



断熱改修ワークショップの様子

撮影場所	撮影時間	断熱改修していない教室	断熱改修した教室
壁面・窓面	冬季 10 時撮影 (空調稼働 1 時間後)		
天井面	冬季 16 時撮影 (空調停止 1 時間後)		

断熱改修していない教室と断熱改修した教室のサーモグラフィ画像の比較

R5 年度は、特に家庭部門からの排出削減に取り組むため、親子向け省エネワークショップ「おうちでできるゼロカーボン」を開催(全 4 回)するとともに、家庭向け普及啓発パンフレットの作成を進めています。



おうちでできるゼロカーボンの様子

4 補助事業の実施

本市では、戸建住宅用の太陽光発電システム、太陽熱利用システム、定置型リチウムイオン蓄電池システム、燃料電池システム(エネファーム)、電気自動車等(電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車)、普通充電設備、V2H(ビークル・トゥ・ホーム)充放電設備、中小企業への省エネルギー設備の導入に対する補助制度を設けています。

R4 年度には、従前の次世代エコハウス整備促進補助金に替わり、ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)に対する補助金を新設しました。また、R5 年度には、省エネ効果の高いエアコン、冷蔵庫、温水機器(給湯器等)への買い替えに対する補助を行いました。

ものづくりを
「クール」に

まちを
「クール」に

くらしを
「クール」に

観光を
「クール」に

つながりを
「ホット」に

気候変動への
「そなえ」を

施策の進捗状況

取組方針 1

~ものづくりを「クール」に~ <環境調和型産業への転換>

施策	主な取組	取組状況
1-1	エネルギー・資源の高度利用推進	
1-1	環境配慮産業の立地促進	<p>新たに市内に用地を取得した事業者が工場等を建設(設置)する場合に奨励金を交付し、環境配慮型産業の立地を誘導する。(※新エネルギー関連、次世代自動車関連、航空機器関連分野等を対象)</p> <p><実績> 企業立地促進奨励金及び企業誘致促進奨励金交付 R4年度: 4件、83,522千円(累計62件、3,675,563千円)</p> <p style="text-align: right;">商工課</p>
1-1	環境関連設備投資・研究施設整備の支援	<p>市内に製造工場、研究所、物流施設を有する事業者が工場、設備等の増設を行う場合や研究開発への新規投資を行う場合に奨励金を交付し、水島コンビナート等市内への新規事業の誘致を図る。(※新エネルギー関連、次世代自動車関連、航空機器関連分野等を対象)</p> <p><実績> 設備投資促進奨励金交付 R4年度: 62件、436,040千円(累計653件、6,139,794千円)</p> <p style="text-align: right;">商工課</p>
1-2	環境関連産業の創出推進	
1-2	環境配慮産業の立地促進(再掲)	<p>新たに市内に用地を取得する事業者が工場等を建設(設置)する場合に奨励金を交付し、環境配慮型産業の立地を誘導する。(※新エネルギー関連、次世代自動車関連、航空機器関連分野等を対象)</p> <p><実績> 企業立地促進奨励金及び企業誘致促進奨励金交付 R4年度: 4件、83,522千円(累計62件、3,675,563千円)</p> <p style="text-align: right;">商工課</p>
1-2 (1-6) (1-7)	環境関連設備投資・研究施設整備の支援(再掲)	<p>市内に製造工場、研究所、物流施設を有する事業者が工場、設備等の増設を行う場合や研究開発への新規投資を行う場合に奨励金を交付し、水島コンビナート等市内への新規事業の誘致を図る。(※新エネルギー関連、次世代自動車関連、航空機器関連分野等を対象)</p> <p><実績> 設備投資促進奨励金交付 R4年度: 62件、436,040千円(累計653件、6,139,794千円)</p> <p style="text-align: right;">商工課</p>

<取組方針 ~4つの「クール」と1つの「ホット」と1つの「そなえ」~>

ものづくりを
「クール」に

まちを
「クール」に

くらしを
「クール」に

観光を
「クール」に

つながりを
「ホット」に

気候変動への
「そなえ」を

施策	主な取組	取組状況
1-3	中小企業の環境経営支援	
1-3	商店街等の環境対応支援	商店街等の CO2 削減を図るための機器更新やリサイクルシステムの導入等の環境に配慮した取組を支援。(「パワーアップ商業振興事業交付」) <実績> R4 年度:0 件、0 円(累計 1 件、483 千円) 商工課
1-3	環境マネジメントシステムの継続支援	認証・登録事業者数増加と産業活動における環境負荷の低減を図るため、「エコアクション(EA)21 [※] 」を認証取得している市内業者に対して、認証の更新に必要な経費を助成。(「エコアクション 21 推進補助金」) <実績> R4 年度:2 件(累計 27 件) ※「エコアクション 21」:環境省が定めたガイドラインに基づき、事業者が省エネルギー・省資源・廃棄物の削減やリサイクルといった環境負荷低減に取り組む制度。 環境政策課
1-3	中小企業の省エネルギー設備等導入促進	エネルギーの見える化を行い、省エネ診断に基づく省エネルギー設備等を設置することで、エネルギーマネジメントを推進する市内の中小企業者等に対し、費用の一部を補助。(「中小企業者に係る省エネルギー設備等導入促進事業補助金」) <実績> R4 年度:7 件(累計 33 件) <CO2 削減効果(見込み)> 約 108.2 t-CO2/年 ※省エネ診断による削減見込みの合計 地球温暖化対策室
1-4	法令等による事業者の取組促進	
1-4	環境保全協定による企業の取組促進	協定に基づき、温室効果ガスの排出抑制、省エネ推進を指導。 <実績> 環境保全協定締結数:76 件 ※R4 年度末時点 環境政策課
1-4	市役所の率先行動	倉敷市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)に基づき、省エネ法や温対法への対応や、行政率先行動として全庁的な節電プロジェクト「COOL CHOICE くらしき」を実施。 <実績> ◆省エネ法・温対法への対応 エネルギー使用量(原油換算量) 市長部局:13,162 kL(前年度比 2.5%増) 教育委員会:6,703 kL(前年度比 4.8%増)

<取組方針 ~4つの「クール」と1つの「ホット」と1つの「そなえ」~>

ものづくりを
「クール」に

まちを
「クール」に

くらしを
「クール」に

観光を
「クール」に

つながりを
「ホット」に

気候変動への
「そなえ」を

施策	主な取組	取組状況
		<p>水道局:2,898 kL(前年度比 1.3%減) ボートレース事業局:1,643 kL(前年度比 0.5%増) 市民病院:691 kL(前年度比 0.7%減) CO2 排出量(施設で使用するエネルギーによるもの) 市長部局:13,779 t-CO2(前年度比 41.1%減) 教育委員会:14,099 t-CO2(前年度比 8.2%増) 水道局:5,060 t-CO2(前年度比 14.3%減) ボートレース事業局:3,620 t-CO2(前年度比 2.2%増) 市民病院:1,505 t-CO2(前年度比 3.7%増) ※R4 年 4 月 1 日から R5 年 3 月 31 日まで</p> <p>◆市長部局省エネ推進研修会の実施 施設担当者を対象に、省エネ手法や設備の効率的な運転・管理方法に関する研修会を実施。</p> <p>◆建築物の ZEB 化 倉敷市公共建築物ゼロカーボン指針に基づき、2,000 m²以上の新築工事等の際には ZEB 化を検討し、導入に努める。</p> <p><実績> R4 年度:ZEB Ready 1 件(累計 1 件)</p> <p style="text-align: right;">地球温暖化対策室</p>
1-4	職員の節電・省エネ行動「COOL CHOICE くらしき」の実施	<p>行政の率先行動として、H24 年度から全庁的な節電行動プロジェクト「COOL CHOICE くらしき」を実施。</p> <p><実績> 本庁舎の電気使用量 R4 年度(3 月末時点):2,974,571 kWh(前年度比 98.3%)</p> <p><CO2 削減効果> 約 27 t-CO2/年 ※中国電力の排出係数にて算定</p> <p style="text-align: right;">地球温暖化対策室</p>



取組方針 2 ~まちを「クール」に~ <低炭素型まちづくりの推進>

施策	主な取組	取組状況
2-1	コンパクトなまちづくりの推進	
2-1	倉敷市職員を対象にしたエコ通勤の実施	<p>本庁舎に自家用車で通勤する職員に呼びかけ、1年間のエコ通勤に取り組む。やむを得ず、車通勤が必要な場合は、1か月に5日間を上限とし、1つの駐車枠を4人でシェアして使用できることとした。</p> <p><実績> 車通勤からエコ通勤への転換者 3人 ※R4年5月1日からR5年3月31日までの合計</p> <p style="text-align: right;">交通政策課</p>
2-2	次世代自動車の普及促進	
2-2	次世代自動車等の普及	<p>次世代自動車(EV、PHV、FCV)、充電設備またはV2Hを導入する市民・事業者に対して、費用の一部を補助。(「電気自動車等導入促進補助金」)</p> <p><実績> R4年度:EV350台、PHV100台、充電設備7基、V2H13基 (累計EV884台、PHV681台、FCV2台、充電設備21基、V2H20基)</p> <p><CO2削減効果> 約295.3 t-CO2/年</p> <p style="text-align: right;">地球温暖化対策室</p>
2-2	市役所における次世代自動車・充電設備の率先的導入	<p>市役所に次世代自動車・公用車用の充電設備を導入。一部の充電設備は、一般に無料開放。</p> <p><実績> 累計:EV28台、PHV2台、FCV1台(※)、充電設備(急速2基、普通26基) ※リース契約で、FCV1台を導入。</p> <p><CO2削減効果> 約20.7 t-CO2/年</p> <p style="text-align: right;">総務課・市民活動推進課・市街地開発課</p>
2-3	太陽エネルギー(太陽光・太陽熱)の利用促進	
2-3	戸建住宅用太陽光発電システムの設置促進	<p>戸建住宅に太陽光発電システムを設置する場合に、費用の一部を補助。(「創エネ・脱炭素住宅促進補助金」)</p> <p><実績> R4年度:297件 1,728kW (累計10,161件 46,602kW)</p> <p><CO2削減効果> 約964.4 t-CO2/年</p> <p style="text-align: right;">地球温暖化対策室</p>

<取組方針 ~4つの「クール」と1つの「ホット」と1つの「そなえ」~>



施策	主な取組	取組状況
2-3	公共施設への太陽光発電システムの導入	公共施設に太陽光発電システムを導入 <実績> R4 年度:1 か所 10kW (累計 52 か所 587kW) <CO2 削減効果(累計)> 約 459 t-CO ₂ /年 地球温暖化対策室・公共設備課
2-3	公共施設への太陽光発電システムの導入	片島浄水場に、R5 年 2 月に PPA にて太陽光発電システム(480kW)を導入 <実績> R4 年度:発電量 110,256kWh <CO2 削減効果(累計)> 約 63.8 t-CO ₂ /年(約 2 か月分) 浄水課・水道建設課・地球温暖化対策室
2-3	市有地や公共施設の屋根の賃貸による太陽光発電の導入	市が所管する土地や施設の屋根を民間事業者へ太陽光発電用地として貸し出し、収益を施設の省エネ化や地域の活性化に充てる。 <実績> R4 年度:0 か所(継続設置) (累計 6 か所 202.35kW) <CO2 削減効果(累計)> 約 157 t-CO ₂ /年 地球温暖化対策室
2-3	太陽熱利用システムの設置促進	住宅に太陽熱利用システムを設置する場合に、費用の一部を補助。(「創エネ・脱炭素住宅促進補助金」) <実績> R4 年度:13 件(累計 209 件) <CO2 削減効果> 約 13.0 t-CO ₂ /年 地球温暖化対策室
2-3	定置型リチウムイオン蓄電池システムの設置促進	住宅に定置型リチウムイオン蓄電池システムを設置する場合に、費用の一部を補助。(「創エネ・脱炭素住宅促進補助金」) <実績> R4 年度:401 件(累計 1,216 件) <CO2 削減効果> 約 387.1 t-CO ₂ /年 地球温暖化対策室
2-3	住宅への太陽光発電システム・定置型リチウムイオン蓄電	倉敷市次世代エコハウス建築計画認定を受けた住宅を建築又は譲受する場合に、費用の一部を補助。 <実績>

<取組方針 ~4つの「クール」と1つの「ホット」と1つの「そなえ」~>



施策	主な取組	取組状況
	池システムの設置促進(次世代エコハウスの整備促進)	R4年度:14件(累計203件) うち、太陽光発電システムの選択:14件(68.9kW)、蓄電池の設置:1件 <CO2削減効果> 約39.4 t-CO2/年 地球温暖化対策室・建築指導課
2-3	住宅の脱炭素化の促進	ZEHを建築する場合に、費用の一部を補助。(「創エネ・脱炭素住宅促進補助金」) <実績> R4年度:39件 <CO2削減効果> 約78,273 t-CO2/年 地球温暖化対策室
2-3	建築物への太陽光発電システムの設置促進(中小企業の省エネルギー設備等導入促進)	エネルギーの見える化を行い、省エネ診断に基づく省エネルギー設備等を設置することで、エネルギーマネジメントを推進する市内の中小企業者等に対し、費用の一部を補助。(「中小企業者に係る省エネルギー設備等導入促進事業補助金」) <実績> R4年度:7件(累計33件) うち、太陽光発電システムの設置:2件 <CO2削減効果(見込み)> 約4.74 t-CO2/年 ※省エネ診断による削減見込みの合計 地球温暖化対策室
2-4	大規模集客施設設置事業者による温暖化対策の推進	
2-4	アイドリングストップ・エコドライブなどの啓発	大規模小売店舗立地届出時にアイドリングストップに関する啓発看板を掲げる指導を実施。 環境政策課
2-5	建築物・施設の省エネルギー・低炭素化の推進	
2-5	公共施設の省エネ化	都市公園トイレ照明のLED化 <実績> R4年度:トイレ11か所(累計67か所) <CO2削減効果> 約0.4 t-CO2/年 公園緑地課
2-5	公共施設の省エネ化	児島モーターボート競走場の場内照明のLED化 <実績> 本場(スタンド棟136台、競技棟14台)、外向発売所(屋外照明14台) <CO2削減効果>

<取組方針 ~4つの「クール」と1つの「ホット」と1つの「そなえ」~>



施策	主な取組	取組状況
		約 13.6 t-CO ₂ /年 経営管理課
2-5	公共施設の省エネ化	くらしき流 ESCO 事業の実施 ESCO 事業のスキームを活用し、市施設の省エネ改修を実施 <実績> R4 年度:0 施設(累計 10 施設) 公有財産活用課
2-5	公共施設の省エネ化	下水処理場での省エネ化 児島下水処理場において、下水処理で発生する消化ガスにより発電するバイオマス発電設備「くらげんき」がH27 年 5 月より稼働中。発電能力は 125kW (25kW×5 基) <CO ₂ 削減効果> 約 348 t-CO ₂ /年 下水施設課
2-5	公共施設の省エネ化	小学校、中学校、高等学校の屋内運動場(体育館)、校舎の照明の LED 化を順次実施。 <実績> R4 年度:12 校(累計 45 校) 教育施設課
2-5	公共施設屋内照明の LED 化	市営駐車場の蛍光灯を LED 化 <実績> R4 年度:1 灯 <CO ₂ 削減効果> 約 0.04 t-CO ₂ /年 市街地開発課
2-5	建築物の省エネ化	建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律に規定する基準に適合する場合、建築主に対し、建築物エネルギー消費性能向上計画認定を行う。 <実績> R4 年度:46 件(累計 135 件) 建築指導課
2-5	建築物の省エネ化	都市の低炭素化の促進に関する法律に規定する基準に適合する場合、建築主に対し、低炭素建築物新築等計画認定を行う。 <実績> R4 年度:42 件(累計 341 件) 建築指導課
2-5	住宅の省エネ化(燃料電池システムの)	住宅に燃料電池システム(エネファーム)を設置する場合に、費用の一部を補助。(「創エネ・脱炭素住宅促進補助金」)

<取組方針 ~4つの「クール」と1つの「ホット」と1つの「そなえ」~>



施策	主な取組	取組状況
	設置促進)	<p><実績> R4 年度:29 件(累計 350 件) <CO2 削減効果> 約 43.5 t-CO2/年</p> <p style="text-align: right;">地球温暖化対策室</p>
2-5	住宅の省エネ化(次世代エコハウスの整備促進)	<p>倉敷市次世代エコハウス建築計画認定を受けた住宅を建築又は譲受する場合に、費用の一部を補助。</p> <p><実績> R4 年度:14 件(累計 203 件) うち、高効率給湯器の選択:8 件、HEMS の選択:11 件、燃料電池の選択:1 件(複数選択あり) <CO2 削減効果> 約 6.8 t-CO2/年</p> <p style="text-align: right;">地球温暖化対策室・建築指導課</p>
2-5	住宅の脱炭素化の促進	<p>ZEH を建築する場合に、費用の一部を補助。(「創エネ・脱炭素住宅促進補助金」)</p> <p><実績> R4 年度:39 件 <CO2 削減効果> 約 78,273 t-CO2/年</p> <p style="text-align: right;">地球温暖化対策室</p>
2-5	建築物の省エネ化(中小企業の省エネルギー設備等導入促進)	<p>エネルギーの見える化を行い、省エネ診断に基づく省エネルギー設備等を設置することで、エネルギーマネジメントを推進する市内の中小企業者等に対し、費用の一部を補助。(「中小企業者に係る省エネルギー設備等導入促進事業補助金」)</p> <p><実績> R4 年度:7 件(累計 33 件) うち、照明の LED 化:3 件 <CO2 削減効果(見込み)> 約 25.65 t-CO2/年 ※省エネ診断による削減見込みの合計</p> <p style="text-align: right;">地球温暖化対策室</p>
2-6	屋外照明の省エネルギー化の推進	
2-6	公共施設屋外照明の LED 化	<p>都市公園の外灯を LED 化</p> <p><実績> R4 年度:外灯 77 灯(累計 478 灯) <CO2 削減効果> 約 3.1 t-CO2/年</p>

<取組方針 ~4つの「クール」と1つの「ホット」と1つの「そなえ」~>



施策	主な取組	取組状況
		公園緑地課
2-6	公共施設屋外照明のLED化	H24年度より市内全ての道路照明灯(新規設置分)をLED化 <実績> R4年度:14灯 <CO2削減効果> 約0.6 t-CO2/年 style="text-align: right;"> 道路管理課
2-6	公共施設屋外照明のLED化	H24年度より市内全ての中学校通路防犯灯(新規設置分)をLED化 <実績> R4年度:218灯 <CO2削減効果> 約8.8 t-CO2/年 style="text-align: right;"> 道路管理課
2-6	公共施設屋外照明のLED化	2020年度までに水銀灯の製造・輸出入の禁止が予定されていたため、市が所有する3,781台の水銀灯について、H27年度から概ね10年計画で、LED化 <実績> R4年度:200灯 <CO2削減効果> 約8.0 t-CO2/年 style="text-align: right;"> 道路管理課
2-6	公共施設屋外照明のLED化	町内会等の地域がLED防犯灯を新しく設置する場合、または既存の防犯灯の故障・老朽化のため器具をLED防犯灯へ更新する場合に設置費補助金を交付。(「地域防犯灯設置費補助金」) <実績> R4年度:新設228灯、更新707灯 <CO2削減効果> 約37.6 t-CO2/年 style="text-align: right;"> 道路管理課
2-6	公共施設屋外照明のLED化	石の塔トンネル・新扇の峠トンネル照明のLED化を実施。 <実績> R4年度:96灯 <CO2削減効果> 約3.9 t-CO2/年 style="text-align: right;"> 道路管理課
2-6	屋外照明の撤去	路上の駐車場案内看板1基の撤去に伴い、蛍光灯2灯を撤去。 <実績>

<取組方針 ~4つの「クール」と1つの「ホット」と1つの「そなえ」~>



施策	主な取組	取組状況
		R4 年度:2 灯 <CO2 削減効果> 約 0.2 t-CO2/年 市街地開発課
2-7	エコ移動の推進	
2-7	エコドライブ講習会の実施	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から講習会は中止。 環境学習センター
2-7	ノーマイカーデーの実施	岡山県が主導する「岡山県下統一ノーマイカーデー」に賛同し、5 月の最終金曜日に市職員の車通勤を抑制。 <実績> R4 年度:本庁舎・支所・保健所等が参加。対象者のうち 55.3%が取組に協力。 <CO2 削減効果> 約 1.7 t-CO2 環境政策課
2-7	「スマート通勤おかやま 2022」の実施 (R4 年度実施)	岡山国道事務所が主導する「スマート通勤おかやま 2022」に賛同し、市職員の車通勤を抑制。R4 年度は、10 月 24 日~11 月 4 日の 12 日間で実施。 <実績> R4 年度 倉敷市職員の参加登録者 547 名(普段からエコ通勤者も含む) 交通政策課
2-7	路線バス事業者支援事業	環境対応ノンステップバスの購入補助を実施。 <実績> R4 年度:3 台 交通政策課
2-8	バイオマスエネルギーの利用促進	
2-8	廃食油を原料とした BDF の利用	家庭から集められた廃食油(使用済天ぷら油)からバイオディーゼル燃料を精製し、市のごみ収集車等に使用。 <実績> R4 年度:燃料精製量 7,740L(累計 181,770L)、燃料使用公用車 4 台 <CO2 削減効果> 約 20.0 t-CO2/年 一般廃棄物対策課
2-9	都市緑化及び森林整備・保全の推進	
2-9	緑のカーテン普及	市民にゴーヤの種、苗を配布。家庭や事業所等で育てられた「緑のカーテン」の取組内容を募集。 <実績> R4 年度:応募数 20 点(市民・事業者合わせて)

<取組方針 ~4つの「クール」と1つの「ホット」と1つの「そなえ」~>



施策	主な取組	取組状況
		環境学習センター
2-9	緑のカーテン普及	支所、公民館、学校、下水処理場など公共施設での緑のカーテンの設置。 総務課
2-9	緑のカーテン普及	市民団体等と連携し、緑のカーテンと併せて温暖化関連の出前授業を実施（「緑のカーテンプロジェクト」）。 <実績> R4 年度:小学校 2 校 環境学習センター
2-9	住宅用生垣の普及 民有地緑化の普及	快適な生活環境の創造及び都市緑化の促進を図るため、住宅用生垣設置費の一部を補助。（「生垣設置補助金」） R4 年 12 月から、快適な生活環境の創造及び都市緑化の促進を図るため、樹木等の費用や花壇の設置費の一部を補助。（「民有地緑化事業補助金」） <実績> R4 年度:6 件(累計 872 件) 内訳:生垣 4 件 民有地緑化(R4.12~)2 件 公園緑地課
2-9	緑のリサイクル事業	家庭で不要になった庭木を、市が仲介役となって市民に無償で譲渡。 <実績> R4 年度:209 本(累計 5,613 本) 公園緑地課
2-9	校庭芝生化事業	地球温暖化防止及び環境教育のため、校庭の一部に芝生を植栽。 <実績> 累計 26 校庭、13,367 m ² 教育施設課
2-10	水素社会の実現に向けた取組	
2-10	燃料電池自動車を活用した環境学習	燃料電池自動車を一般市民に見学してもらった。 <実績> R4 年度:見学 2,533 人 環境学習センター
2-10	燃料電池自動車の普及促進	FCV を導入する市民・事業者に対して、費用の一部を補助。（「電気自動車等導入促進補助金」の事業において、補助対象車種をH29 年 4 月から燃料電池自動車にも拡大） <実績> R4 年度:0 台(累計 2 台) 地球温暖化対策室
2-10	燃料電池システム（エネファーム）の設	住宅に燃料電池システム（エネファーム）を設置する場合に、費用の一部を補助。（「創エネ・脱炭素住宅促進補助金」）

<取組方針 ~4つの「クール」と1つの「ホット」と1つの「そなえ」~>



施策	主な取組	取組状況
	置促進(再掲)	<実績> R4 年度:29 件(累計 350 件) <CO2 削減効果> 約 43.5 t-CO2/年 地球温暖化対策室
2-11	未利用エネルギーの導入検討	
2-11	未利用エネルギーの導入	環境省が実施した「H29 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費補助金(地方公共団体カーボン・マネジメント強化事業(2 号事業))」を活用し、屋内水泳センターにおいて、温水プールを温めるための熱源を従来の蒸気ボイラから下水熱を利用した熱源機器へ改修。H30 年 2 月より稼動。 <CO2 削減効果> 約 267 t-CO2/年 下水施設課・スポーツ振興課・地球温暖化対策室



取組方針3 ~くらしを「クール」に~ <低炭素型ライフスタイルへの転換>

施策	主な取組	取組状況
3-1	CO2の少ない生活様式の推進	
3-1	温暖化防止啓発イベントの実施	<p>環境団体や企業との協働により、「くらしき環境フェスティバル」を開催。市民にゴーヤの種、苗を配布。家庭や事業所等で育てられた「緑のカーテン」の取組内容を募集。</p> <p><実績> R4 年度参加者：1,200 人 R4 年度応募数：20 点(市民・事業者合わせて)</p> <p style="text-align: right;">環境学習センター</p>
3-2	ごみの少ない生活様式の推進	
3-2	ごみの排出抑制	<p>マイバッグ・マイ箸運動、ごみ分別細分化の徹底、生ごみ処理容器(機)の普及啓発、ごみステーションでの指導実施など。</p> <p><実績> R4 年度：生ごみ処理器購入費補助 260 基(累計 29,710 基)</p> <p style="text-align: right;">一般廃棄物対策課</p>
3-2	再資源化の推進	<p>ペットボトル回収の充実、学校給食等における食品残さの堆肥化、ごみ減量化協力団体報奨金交付制度の推進。</p> <p><実績> R4 年度：ごみ減量化協力団体報奨金交付：906 団体</p> <p style="text-align: right;">一般廃棄物対策課</p>
3-2	5R 啓発イベントの実施	<p>環境団体や企業との協働により、「リサイクルフェア in くらしき」を開催し、5R 推進や温暖化対策に関する行政や環境団体の体験展示ブース、フリーマーケットなどを通じて情報提供、啓発を実施。</p> <p><実績> R4 年度：参加者 2,062 人</p> <p style="text-align: right;">一般廃棄物対策課</p>
3-3	倉敷市次世代エコハウス認定制度の運用	
3-3	倉敷市次世代エコハウス認定／補助制度	<p>本市の気候風土に合った低炭素住宅の普及を図るため、国の低炭素建築物認定若しくは建築物エネルギー消費性能向上計画認定を受け、かつ太陽エネルギーの利用や県内産木材の使用などを基準にした、市独自のエコ住宅認定制度及び認定住宅に対する補助制度をH25 年度から実施。</p> <p><実績> R4 年度：認定・補助 14 件(累計 203 件)</p> <p style="text-align: right;">建築指導課・地球温暖化対策室</p>
3-3	住宅の脱炭素化の促進	<p>ZEH を建築する場合に、費用の一部を補助。(「創エネ・脱炭素住宅促進補助金」)</p>

<取組方針 ~4つの「クール」と1つの「ホット」と1つの「そなえ」~>



施策	主な取組	取組状況
		<p><実績> R4 年度:39 件 <CO2 削減効果> 約 78,273 t-CO2/年</p>
3-5	地産地消、旬産旬消の推進	
3-5	地産地消の推進	<p>R4 年度の学校給食において、使用する食材の 40.8%(6 月、11 月調査実施時の平均値)に地産品を活用。</p> <p style="text-align: right;">保健体育課</p>
3-5	地産地消の推進	<p>農林水産業の振興と地元産品の消費拡大を推進するため、市内の農産物直売所の利用促進を図るほか、地元産品の展示や PR イベントを開催するなど地産地消の PR に努めた。</p> <p><実績> R4 年度 ・船穂産スイートピーPRイベントの実施(倉敷駅) ・倉敷地方いちご共進会の開催(本庁舎)、即売会(本庁舎、アリオ倉敷)の実施</p> <p style="text-align: right;">農林水産課</p>
3-6	環境教育・環境学習・環境啓発の推進	
3-6	環境学習、環境活動の推進	<p>環境学習センターの主催・共催により、環境学習に関連する講座・講演会・イベント出展等を実施。</p> <p>R4 年度は延べ 106 回実施し、延べ 7,750 人が環境学習活動に参加。</p> <p style="text-align: right;">環境学習センター</p>
3-6	環境学習、環境活動の推進	<p>市内の小学 5 年生を対象に、小学校への環境出前講座「こどもエコライフチャレンジ」を 3 校で実施。</p> <p style="text-align: right;">環境学習センター</p>
3-6	環境学習、環境活動の推進	<p>幼稚園、小学校、中学校、市民団体等からの施設見学の受入を実施。</p> <p>R4 年度:25 団体 1,005 人 エコギャラリー(展示コーナー)において、児島湖流域環境保全推進ポスターコンクールなど、環境に関する展示会を 7 回実施。</p> <p style="text-align: right;">環境学習センター</p>
3-6	環境学習、環境活動の推進	<p>燃料電池自動車、スマート水素ステーションを市民に見学・試乗してもらった。</p> <p><実績> R4 年度:見学者数 2,533 人</p> <p style="text-align: right;">環境学習センター</p>

<取組方針 ~4つの「クール」と1つの「ホット」と1つの「そなえ」~>



施策	主な取組	取組状況
3-6	バス教室の開催	市内小学校に小学生向けのバス・鉄道教室のDVDを配布し、活用してもらっている。 交通政策課
3-6	学校断熱ワークショップの実施	教室の断熱改修作業を体験し、室温や消費電力の変化を感じることで、断熱の重要性を知ることができるワークショップを実施。 <実績> R4年度:1室(緑丘小学校)(累計2校2室) <CO2削減効果> 約220.3kg-CO2/年 (暖房:約121.59kg-CO2/年 冷房:約183.54kg-CO2/年) ※CO2削減効果は緑丘小学校での測定結果による 教育施設課・地球温暖化対策室
3-7	家庭へのエコ情報配信	
3-7	エコ情報の発信	「広報くらしき」や市ホームページへの記事掲載、関係機関・団体のイベント時などのパンフレット配布を通じて、節電・省エネ関連の情報を発信。 環境学習センター
3-8	環境情報の「見える化」の推進	
3-8	環境情報の「見える化」の推進	市民活動団体との協働により、市民への省エネナビ・ワットチェッカー・ワットアワーメーターの貸出や家庭の省エネ体験を実施。 環境学習センター

<取組方針 ~4つの「クール」と1つの「ホット」と1つの「そなえ」~>

ものづくりを
「クール」に

まちを
「クール」に

くらしを
「クール」に

観光を
「クール」に

つながりを
「ホット」に

気候変動への
「そなえ」を

取組方針 4

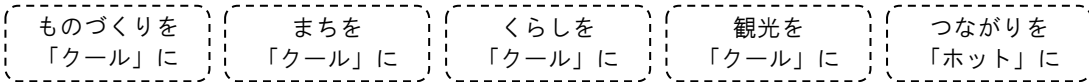
~観光を「クール」に~ <環境調和型観光地づくりの推進>

<取組方針 ~4つの「クール」と1つの「ホット」と1つの「そなえ」~>



取組方針5 ~つながりを「ホット」に~ <主体間交流・連携の強化>

施策	主な取組	取組状況
5-1	温暖化防止活動拠点施設の活用	
5-1	環境学習施設の整備・運用	<p>官民連携による環境学習、環境活動の拠点となる施設として、図書コーナー（エコライブラリー）、展示ルーム（エコギャラリー）、会議室（環境学習教室）を備え、環境学習事業を行う「倉敷市環境学習センター」をH24年度より開館。これまで各部署で行っていた環境学習事業を集約し、施策 3-6 のとおり体系的に企画、実施。</p> <p><実績(再掲)> R4 年度: 講座・講演会・イベント出展等 106 回 7,750 人 施設見学受入 25 団体 1,005 人 展示 7 回 燃料電池自動車、スマート水素ステーション見学・試乗者数 2,533 人</p> <p style="text-align: right;">環境学習センター</p>
5-2	近隣自治体等との交流・連携の強化	
5-2	高梁川流域カーボンニュートラル研究会の開催	<p>高梁川流域連携中枢都市圏を構成する自治体（新見市、高梁市、総社市、早島町、倉敷市、矢掛町、井原市、浅口市、里庄町、笠岡市）で、R4 年 5 月に、高梁川流域全体でのカーボンニュートラルの実現を目指して、「高梁川流域カーボンニュートラル研究会」を立ち上げた。</p> <p><実績> R4 年度: 3 回研究会を開催 （主なテーマ） 第 1 回: 各市町の取組、意向について 第 2 回: 各市町の温室効果ガス排出量・再エネ導入ポテンシャルの算定結果について 連携事業: 断熱改修ワークショップ（施策 3-6 を参照） 第 3 回: 交通におけるカーボンニュートラルに向けた取組について、 連携事業の実施結果について</p> <p style="text-align: right;">地球温暖化対策室</p>



気候変動への「そなえ」を

取組方針 6 ~気候変動への「そなえ」を~ <気候変動への適応>

施策	主な取組	取組状況
6-1	適応策に関する普及啓発	
6-1	光化学オキシダント濃度の常時監視体制の強化	県との協力のもと、オキシダントが高濃度になりやすい時期を「大気汚染防止夏期対策期間」とし、休日を含めた監視体制をとり、光化学オキシダント濃度が上昇した場合に情報・注意報を発令し、FM放送やインターネット、メールマガジン配信、広報車等による周知を実施。水島地区の主要工場に窒素酸化物等の排出削減を要請。 環境政策課
6-1	熱中症予防についての普及・啓発	熱中症患者が増加する夏季を中心に、各保健推進室が実施する教室、健診等の事業や地区組織の会議・研修等の機会に、熱中症予防に関する知識の普及や注意喚起を実施。また、ホームページやSNSを活用し周知を図った。 <実績> R4年度 ・愛育委員会、親子クラブなどの定例会での啓発 61回 1,261人 ・幼児健診や乳児を対象にした教室等での注意喚起 ・倉敷市ホームページやInstagramを活用した啓発 保健所 保健課
6-1	熱中症予防についての普及・啓発	救急講習会を開催。 <実績> R4年度:161回 2,278人 警防課
6-1	田んぼダムの普及・啓発	協力農家に対して、排水柵の取替や堰板の配布、畦畔補強を支援し、田んぼダムの普及を図った。 <実績> R4年度:田んぼダム 24ha 耕地水路課
6-1	ため池での防災・減災	ため池ハザードマップを作成し、ため池の安全確保を図った。 <実績> R4年度:ため池ハザードマップ作成 9地区 水位計設置 6池 耕地水路課

これまでの取組

施策	主な取組	取組状況
1-3	中小企業の環境経営支援	
1-3	事業所の省エネ対策支援 (H24 年度実施)	環境省の「自治体 CO2 削減ポテンシャル診断支援事業」の採択を受けて、CO2 排出量が 6,000 t-CO2/年以下の市内事業所に対し、研修及び CO2 削減ポテンシャル診断(※エネルギー計測含む)を実施。 <実績> 全体研修:11 事業所、簡易診断:3 事業所、個別診断:12 事業所 地球温暖化対策室
2-1	コンパクトなまちづくりの推進	
2-1	パークアンドライド駐車場の整備 (H24 年度終了)	水島臨海鉄道及び井原鉄道の駅にパークアンドライド駐車場を整備。 <実績> 水島臨海鉄道 2 駅 26 台分、井原鉄道 3 駅 114 台分 交通政策課
2-2	次世代自動車の普及促進	
2-2	倉敷市電気自動車貸出事業 (H24 年度終了)	試乗機会の提供による EV 普及促進を図るため、公用車(EV)を土日祝日に市民・事業者・観光客へ貸出。 <実績> 累計 336 回 観光課 地球温暖化対策室
2-2	電気自動車優先駐車スペースの運用 (H27 年度実施)	環境月間の 6 月に「くらしき環境フェスティバル」で電気自動車優先駐車スペース(障がい者優先駐車スペースと併用)を試験的に設けた。 地球温暖化対策室
2-3	太陽エネルギー(太陽光・太陽熱)の利用促進	
2-3	共同住宅用太陽光発電システムの設置促進 (H29 年度終了)	共同住宅に太陽光発電システムを設置する場合に、費用の一部を補助。(「共同住宅用太陽光発電システム設置費補助」) <実績> H26 年度:10 戸未満 21 件、10 戸以上 9 件 <CO2 削減効果> 約 316.4 t-CO2/年 地球温暖化対策室
2-3	太陽光発電型プログラム型排出削減事業(R3 年度終了)	市の補助を受けて太陽光発電システムを設置した市民の削減量をクレジット化し、売却代金を地域の環境保全活動へつなぐ仕組みを構築。 <実績> R2 年度:J クレジット認証量 1,037 t-CO2(累計 22,371 t-CO2) ※クレジット売却代金の一部は環境保全基金に寄付され、「こどもエコライフチャレンジ」教材作成費等、環境学習活動に活用されている。

施策	主な取組	取組状況
		地球温暖化対策室
2-5	建築物・施設の省エネルギー・低炭素化の推進	
2-5	公共施設の省エネ化 (H28 年度終了)	<p>本庁舎の照明等省エネ化</p> <p><実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・白熱灯を LED 照明に取替約 600 灯(H24 年度で完了) ・駐車場照明の高効率化(Hf インバータ照明に取替、灯数を約 6 割削減)(H24、25 年度で完了) ・高層棟階段灯を LED 照明に取替(40W→10W)(H26 年度で完了) ・1階食堂、喫茶空調を個別パッケージエアコンに更新(H26 年度で完了) ・給湯方式を中央給湯から局所給湯に変更(H26 年度で完了) ・環境政策課執務室の照明を LED 照明に取替(H27 年度) <ul style="list-style-type: none"> 定力率蛍光灯 40W×2 灯用を LED(FLR40W×2 灯用相当)に 27 台更新 定力率蛍光灯 20W×6 灯用を LED(FLR20W×2 灯用相当)に 8 台更新 ・10F 大会議室の照明を LED 照明に取替(H28 年度) <ul style="list-style-type: none"> 定力率蛍光灯 40W×1灯用 84 台を LED(FLR40W×2 灯用相当)43 台に更新 ・西側エレベータのかご内照明を LED に更新(H28 年度) ・5F マシン室の水冷式パッケージエアコン 2 台を空冷式省エネ型に更新(H28 年度) <p><CO2 削減効果></p> <p>約 5.5 t-CO2/年</p> <p style="text-align: right;">総務課</p>
2-5	公共施設の省エネ化(H26 年度実施)	<p>老松小学校に、地中熱利用システムを導入</p> <p style="text-align: right;">教育施設課</p>
2-5	公共施設の省エネ化(H29 年度実施)	<p>カーボン・マネジメント強化事業の実施</p> <p>環境省が実施した「H29 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費補助金(地方公共団体カーボン・マネジメント強化事業(2 号事業))」を活用し、公共施設へ省エネ機器を導入。</p> <p><実績></p> <ul style="list-style-type: none"> 屋内水泳センター: 蒸気ボイラから下水熱を利用した熱源機器への改修 長楽荘: 灯油から都市ガスへの燃料転換を伴う熱源機器の改修 <p><CO2 削減効果></p> <p>約 181.4 t-CO2/年</p> <p style="text-align: right;">地球温暖化対策室</p>
2-5	公共施設の省エネ化(H29・30 年度実施)	<p>本庁舎 1 階から 10 階の執務室会議室廊下等の照明を LED 照明に取替。</p> <p style="text-align: right;">総務課</p>

施策	主な取組	取組状況
2-5	公共施設の省エネ化 (R2年度実施)	児島モーターボート競走場の場内照明のLED化 <実績> 約 20 t-CO2/年 児島モーターボート競走場の対岸大型映像装置改修 <CO2削減効果> 約 160 t-CO2/年 経営管理課
2-5	公共施設の省エネ化 (R3年度実施)	児島モーターボート競走場の場内照明のLED化 <実績> 本場(スタンド棟、競技棟ほか30台) 外向発売所(客席高天井ほか97台) <CO2削減効果> CO2削減効果:約14.1t-CO2/年 経営管理課
2-5	公共施設屋内照明のLED化	市営駐車場の蛍光灯をLED化 <実績> R2年度:86灯 <CO2削減効果> 約 4.0 t-CO2/年 市街地開発課
2-5	公共施設の省エネ化	本庁舎トイレ照明の人感センサー化・省エネ化(Hfインバータ照明・LED照明に取替)(H23年度より継続、R2年度で完了) 総務課
2-6	屋外照明の省エネルギー化の推進	
2-6	公共施設屋外照明のLED化	市営駐車場入口表示灯(満・空表示灯)をLED化 <実績> 累計:12か所 <CO2削減効果> 約 0.6 t-CO2/年 市街地開発課
2-6	公共施設屋外照明のLED化 (H25年度実施)	倉敷市中央駐車場に周辺駐車場の満空情報看板を指定管理者がLED灯で設置 <実績> H25年度:1か所 <CO2削減効果> 約 0.1 t-CO2/年 市街地開発課

施策	主な取組	取組状況
2-6	公共施設屋外照明のLED化 (H28年度実施)	市営駅東駐車場の照明等をLED灯で設置 <実績> H28年度:場内照明 132 灯 外灯 13 灯 満空表示灯 5 灯 出口注意灯 1 灯 <CO2削減効果> 約 8.0 t-CO2/年 市街地開発課
2-6	公共施設屋外照明のLED化 (H30年度実施)	市営駐車場の水銀灯をLED化 <実績> H30年度:16 灯(7 柱) <CO2削減効果> 約 0.8 t-CO2/年 市街地開発課
2-6	市営住宅敷地内防犯灯のLED化 (H26年度終了)	H23年度からH26年度にかけて市営住宅敷地内の防犯灯をLED化。 <実績> 累計 523 灯 <CO2削減効果> 約 27.7 t-CO2/年 住宅課
2-9	都市緑化及び森林整備・保全の推進	
2-9	森林整備の推進 (H24年度終了)	新見市の水源林にH20年度から5カ年計画で植樹を実施。一部は市民参加による。「水源林整備事業」 <実績> H24年度:1.25 ha(累計 15.07 ha) 農林水産課
2-10	水素社会の実現に向けた取組	
2-10	スマート水素ステーションの設置 (H29年度実施)	再生可能エネルギー由来の水素を製造する簡易水素ステーションを環境交流スクエア内駐車場に設置し、H29年5月21日開所。 企画経営室
3-4	COOL CHOICEの推進	
3-4	COOL CHOICEの推進 (H29年度実施)	H28年4月6日に賛同登録し、H29年6月には市を挙げてCOOL CHOICEに取り組んでいくことを宣言した。 <実績> H29年度:環境省が実施した「二酸化炭素排出抑制対策事業費補助金(地域と連携したCO2排出削減促進事業)」の採択を受け普及啓発を行い、1,267人から賛同書の提出があった。主な取組は以下のとおり。 ・エフエムくらしきにて職員及び関係団体が出演する30分番組(6回)及び20

施策	主な取組	取組状況
		秒のスポット CM(102 回)を放送 ・倉敷ケーブルテレビにて PR のための 5 分間 CM を作成して 1 ヶ月間放送 ・山陽新聞にて広告欄に PR のための広告を掲載(10 回) ・市内スーパーでのぬり絵キャンペーンの実施(10 月、3 社) ・水島臨海鉄道の車両及び駅構内に PR 広告を掲示(50 日) ・エコドライブ講習での PR ・市が例年実施している環境イベントでの PR ・家庭や街でできる市民の取組をまとめた「グリーンくらしきエコアクション(G-KEA)」の改定 <p style="text-align: right;">地球温暖化対策室</p>
3-5	地産地消、旬産旬消の推進	
3-5	地産地消の推進	環境学習センター(施策 5-1)の内装に県産材を使用。 <p style="text-align: right;">環境学習センター</p>
3-6	環境教育・環境学習・環境啓発の推進	
3-6	バス教室の開催	公共交通に対する理解を深める事業を通じて、公共交通の利用促進を図るため、将来世代を担う小学生を対象にしたバス教室を開催。 <実績> R2 年度:新型コロナウイルス感染拡大の観点から中止(累計 83 校) <p style="text-align: right;">交通政策課</p>
3-7	家庭へのエコ情報配信	
3-7	エコ情報の発信 (H28 年度実施)	STOP 温暖化くらしき実行委員会が、(株)エフエムくらしきの協力により G-KEA の CM を作成し、H29 年 3 月に1カ月間放送。 <p style="text-align: right;">環境学習センター</p>
3-7	エコ情報の発信 (H29 年度実施)	STOP 温暖化くらしき実行委員会が、(株)エフエムくらしきの協力により G-KEA の CM を作成し、20 秒スポット CM を 40 回放送。 <p style="text-align: right;">環境学習センター</p>
3-7	エコ情報の発信 (H29 年度実施)	環境省が実施する「二酸化炭素排出抑制対策事業費補助金(地域と連携した CO2 排出削減促進事業)」を活用し、家庭や街でできる市民の取組をまとめた「グリーンくらしきエコアクション(G-KEA)」を改定。 <p style="text-align: right;">地球温暖化対策室</p>
4-1	次世代自動車を活用した環境調和型観光地づくりの推進	
4-1	EV 充電設備の整備	観光等に伴う EV 利用環境を整備するため、公共施設等に充電設備を整備。 <実績> 急速充電設備:市内 2 か所、普通充電設備:市内 8 か所 <p style="text-align: right;">総務課・市街地開発課</p>
4-4	観光関連施設における温暖化対策の推進	
4-4	無料シャトルバスの	春・秋の観光シーズンの一定期間に市役所屋内駐車場を開放し、市役所～美

施策	主な取組	取組状況
	運行	観地区間で無料シャトルバスを運行 <実績> R1 年度:35,900 人(累計 129,534 人) 観光課
4-5	既存の観光イベントのグリーン化の推進	
4-5	イベントのグリーン化 推進 (H28 年度実施)	G7 倉敷教育大臣会合の開催にあたり、各国代表団の宿泊及び移動、会場使用に伴うCO2 排出量をJ-クレジットでカーボン・オフセット。 地球温暖化対策室
4-5	イベントのグリーン化 推進(R1 年度終了)	「くらしき環境フェスティバル」において、岡山県の「グリーンイベントガイドラインお かやま」に登録し、イベントでの環境配慮活動に取り組んだ。 環境学習センター
5-2	近隣自治体等との交流・連携の強化	
5-2	省エネルギー相談 地域プラットフォーム 事業 (R3 年度終了)	地域の中小企業等による省エネの取組を促進することを目的として構築された 「省エネルギー相談地域プラットフォーム事業」を一般社団法人エコエネ技術 士ネットが実施した。市は、連携自治体の一つとしてセミナーの共同実施など を行った。 <実績> R1 年度に支援した企業数:17 社 当市以外の連携自治体:岡山県、岡山市、高梁市 セミナー実施:3 回 地球温暖化対策室